

名古屋国道管内自転車安全利用協議会（第2回）

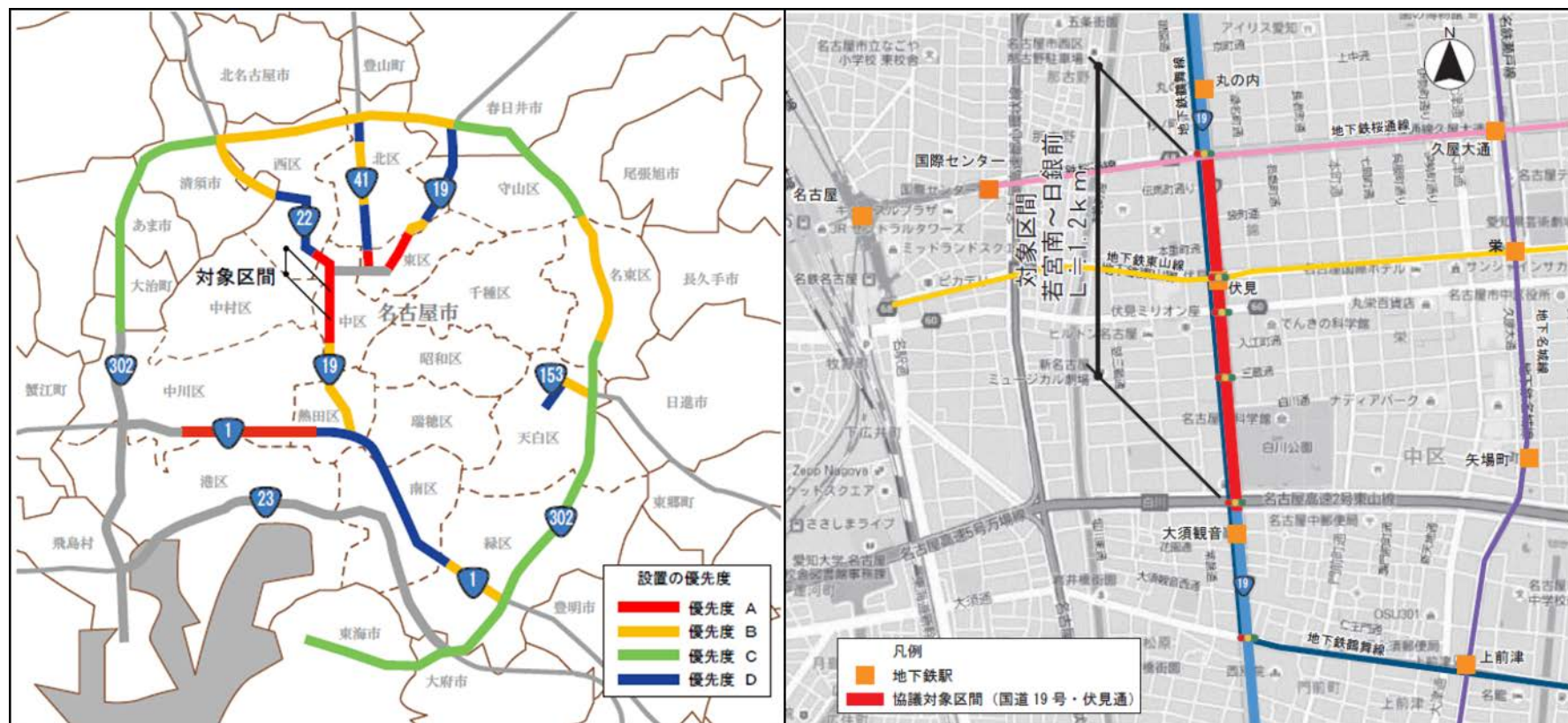
国道19号伏見通自転車通行空間整備検討
（若宮北～日銀前）



1.国道19号 伏見通の概要

①直轄国道自転車ネットワークでの位置づけ

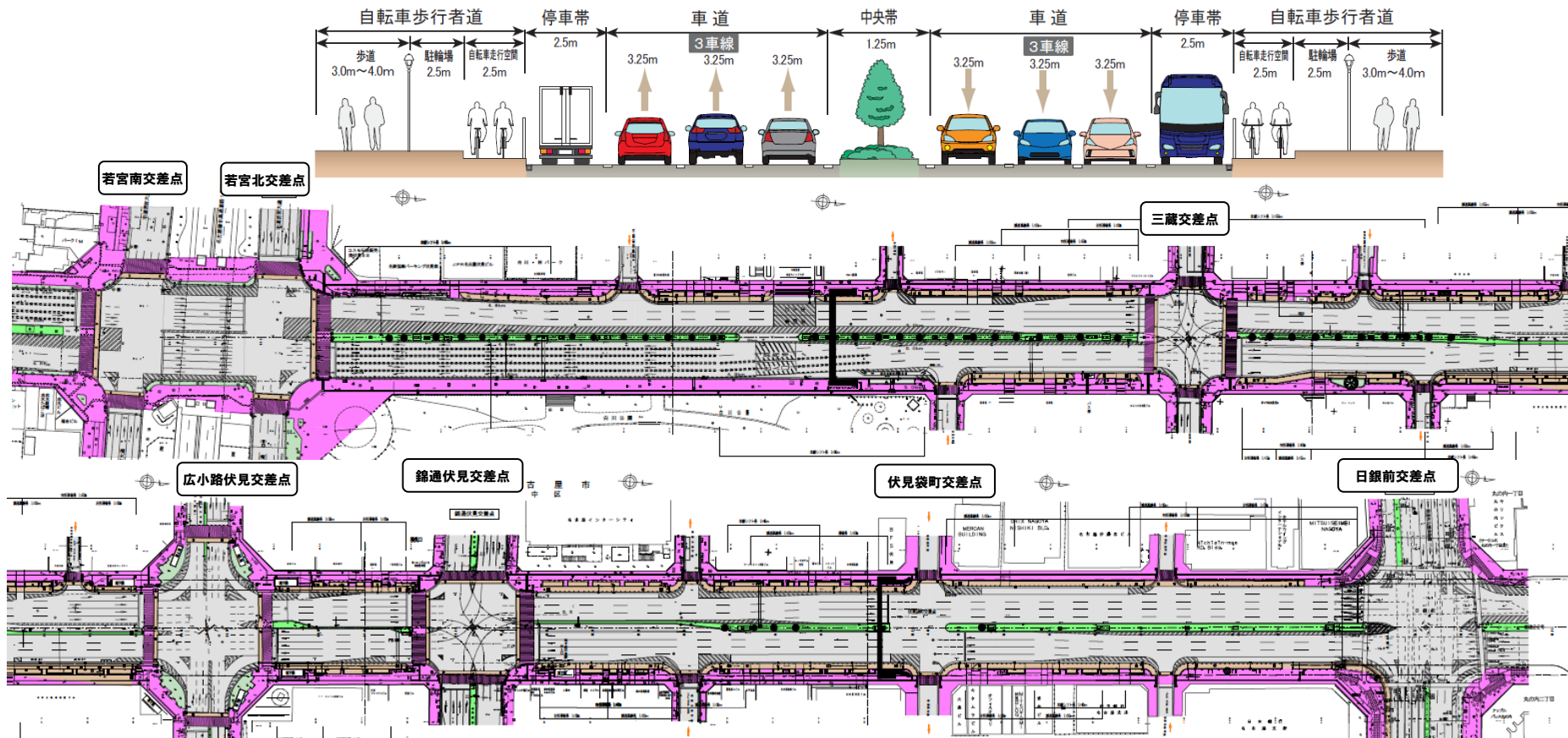
- ・対象区間は、優先度A（早期整備区間）



1.国道19号 伏見通の概要

②国道19号伏見通(若宮北～日銀前交差点)自転車通行空間の現状について

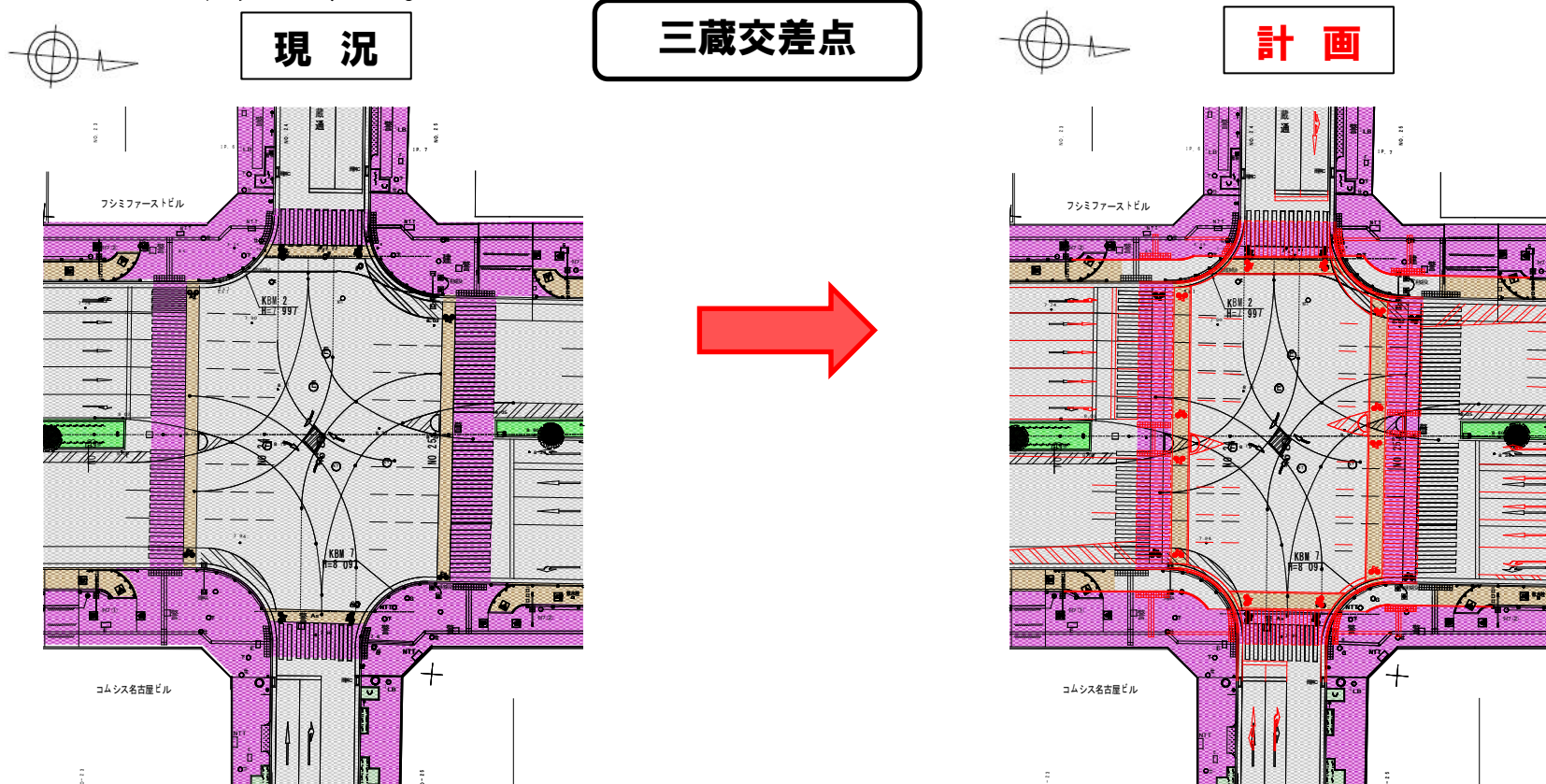
- ・歩行者通行空間と自転車通行空間を構造分離した形で整備し、自転車歩行者道で運用している。
- ・歩行者通行空間は、4.0m程度、自転車通行空間は、施設帯込みで2.5m。



2.整備計画方針(案)

①交差点部の計画

- ・信号交差点部は、本線の横断歩道の手前で自転車通行空間から歩道溜まりへ合流する構造となっている。
- ・交差点での出入口の狭さと屈曲を改善し、走行性を確保する。
- ・自転車利用者に対して、交差点内の誘導案内、歩行者との交錯箇所を路面着色により明示する。



2.整備計画方針(案)

①交差点部の計画

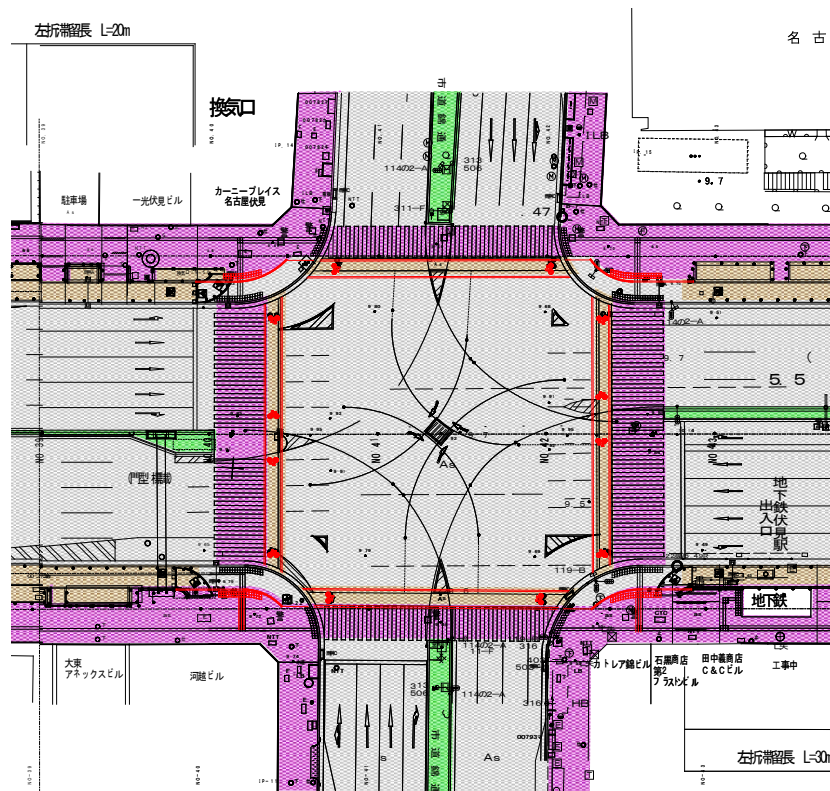
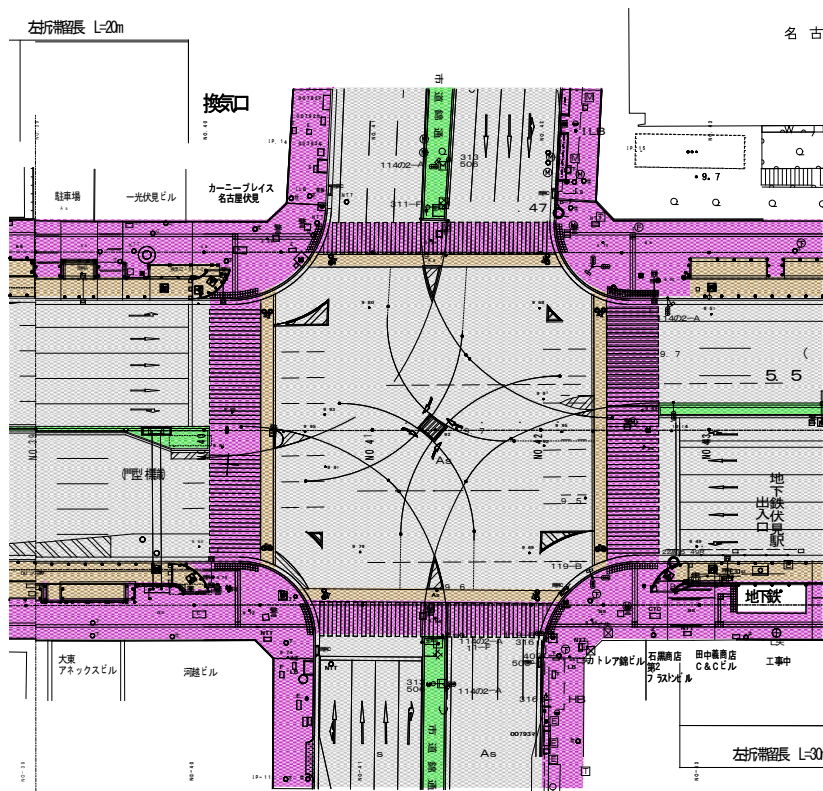
錦通伏見交差点



現況



計画

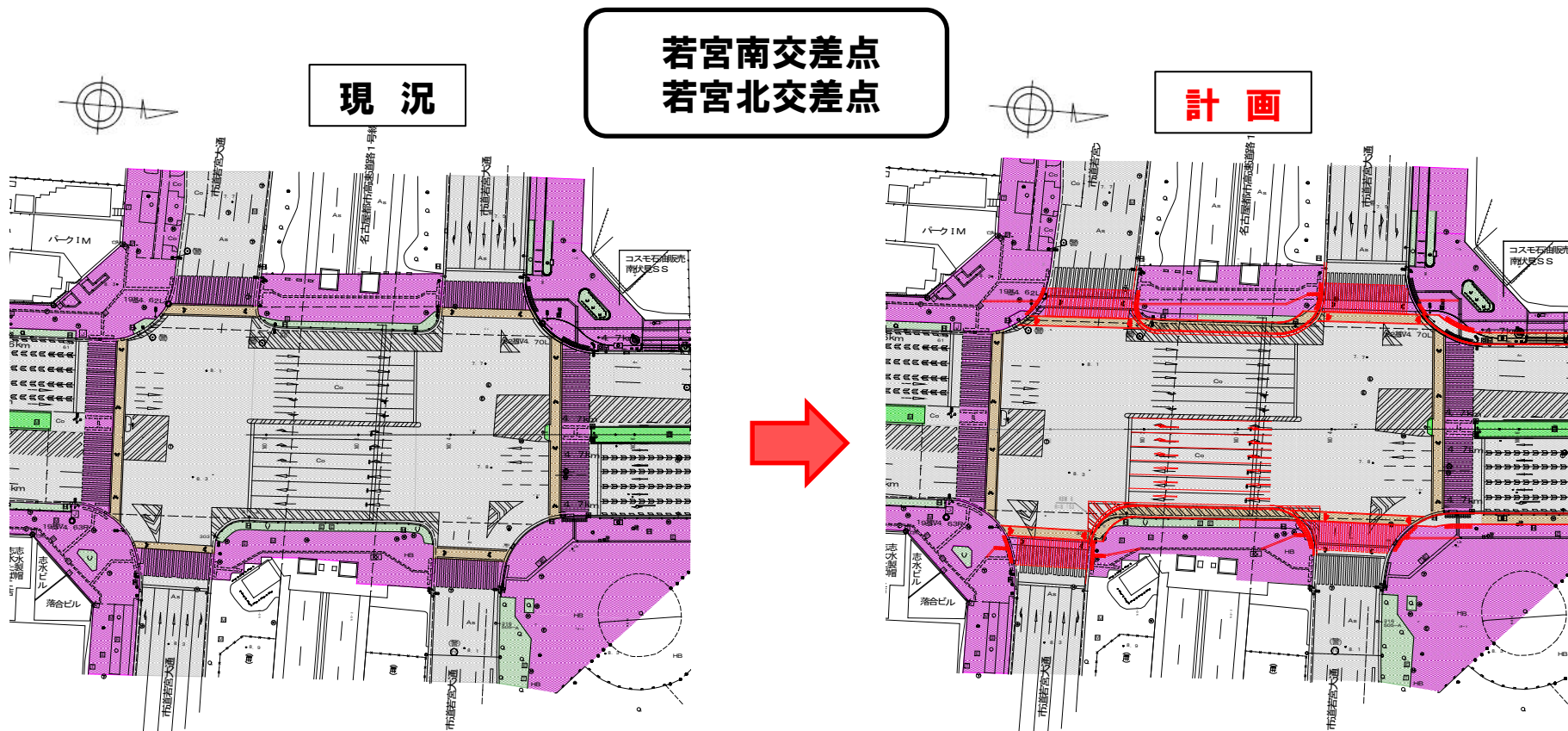


2.整備計画方針(案)

①交差点部の計画

・若宮南交差点、若宮北交差点計画

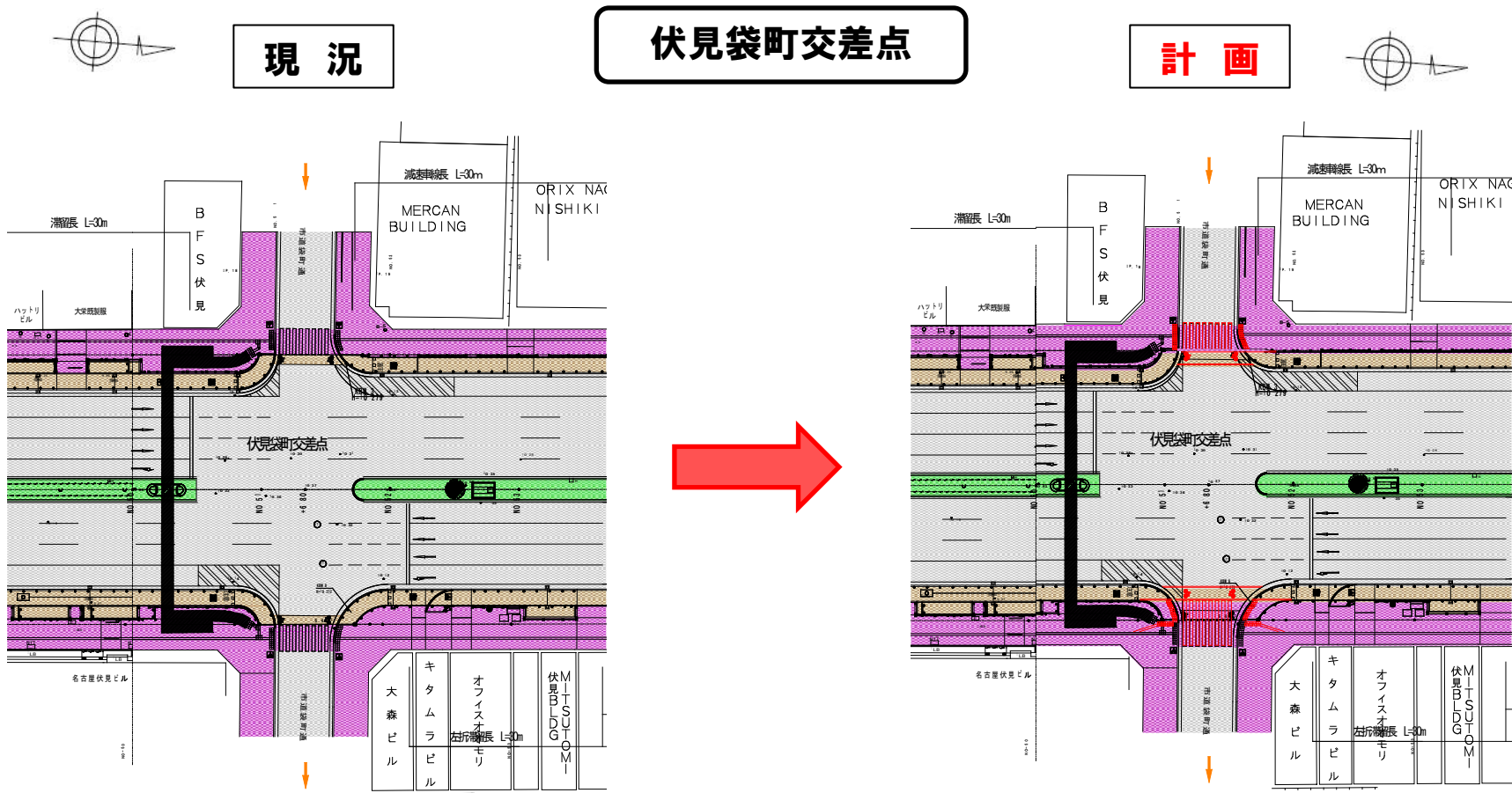
- ・将来的に、若宮北・南交差点内の自転車通行空間を整備し、今後、整備する予定の西大須交差点～若宮南交差点間の自転車通行空間と接続。



2.整備計画方針(案)

①交差点部の計画

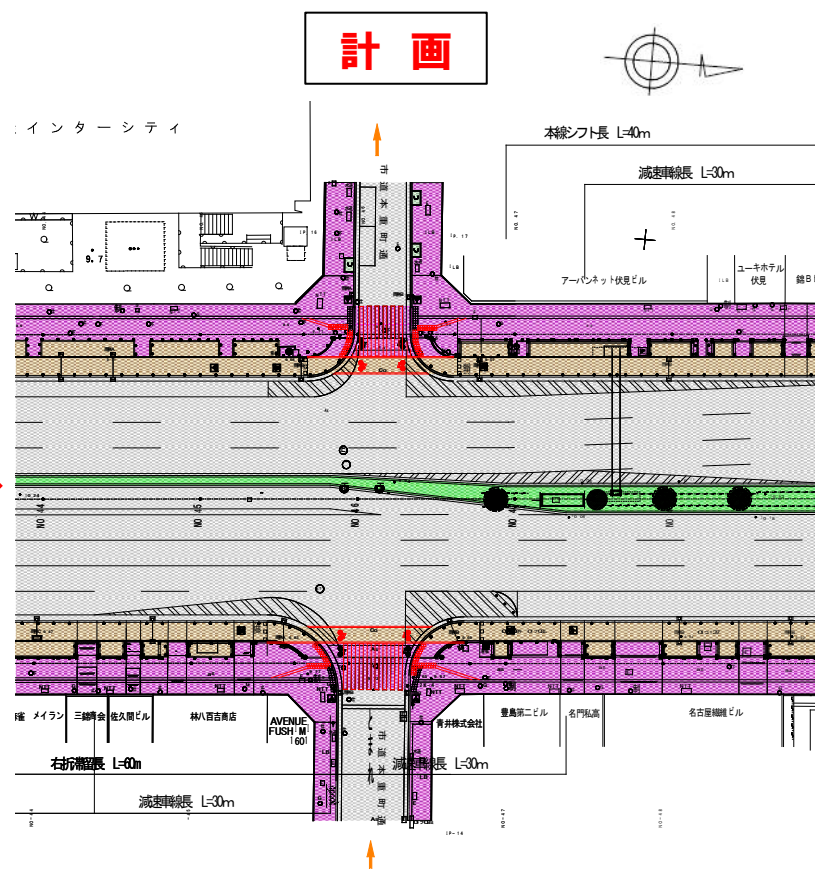
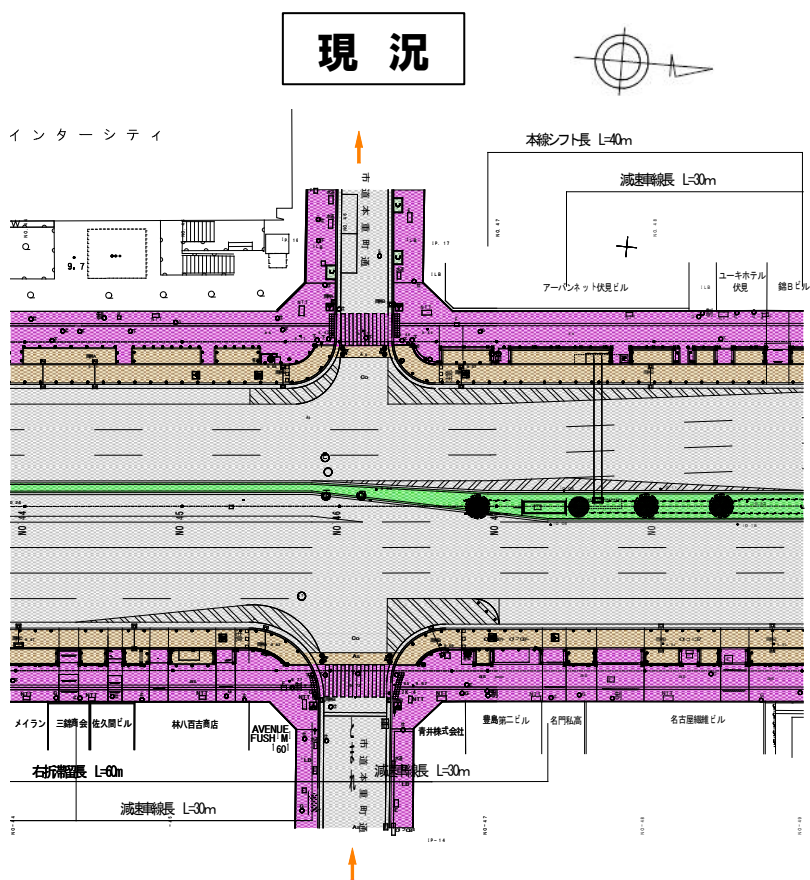
- ・現在自転車道と横断帯に接続する構造となっており、屈曲がきつく走りにくい線形である。
- ・計画では、横断歩道を前にシフトすることにより、走行性(直線性)を確保。



2.整備計画方針(案)

②市道接続部計画

- ・現在自転車道と横断帯に接続する構造となっており、屈曲がきつく走りにくい線形である。
- ・計画では、横断歩道を前にシフトすることにより、走行性(直線性)を確保。

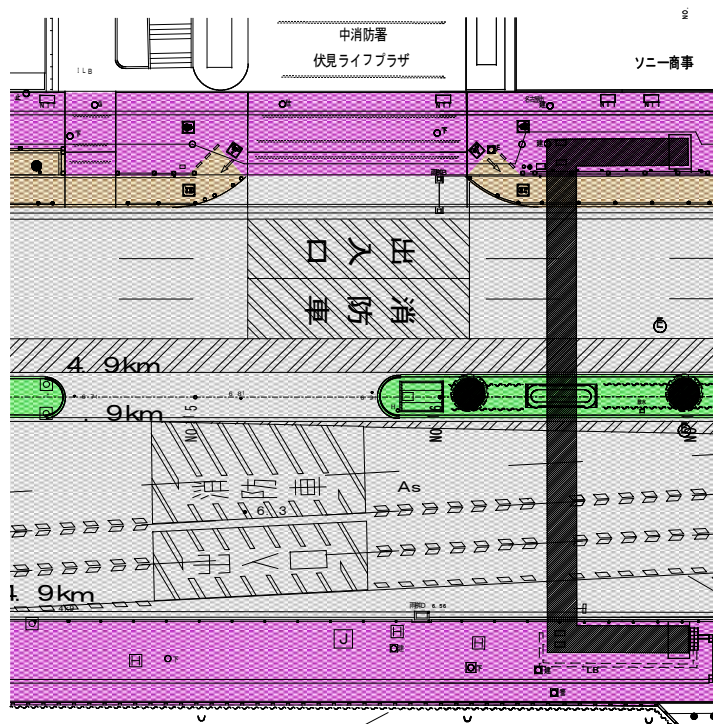


2.整備計画方針(案)

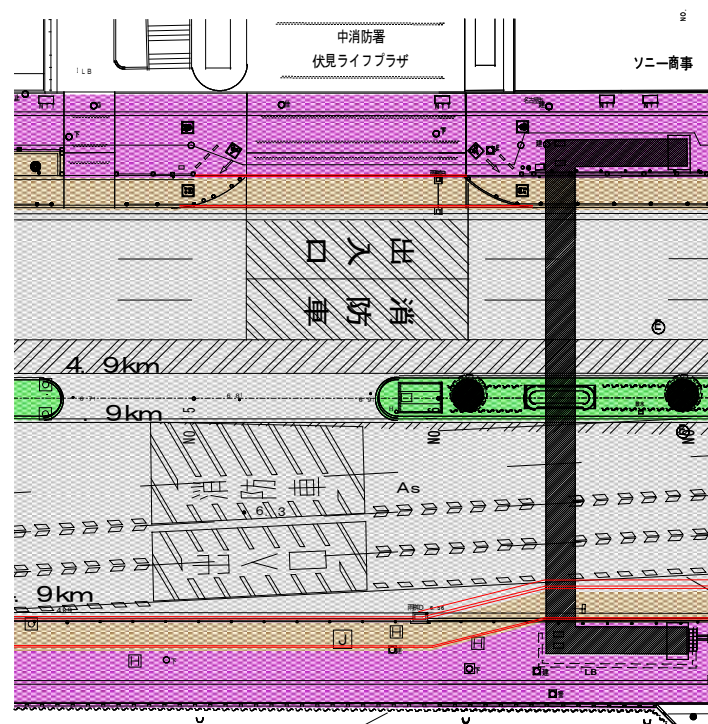
③中消防署前の計画

- ・中消防署出入り口部は、当該箇所の両側で自転車通行空間から歩行者通行空間に合流する構造となっている。
- ・緊急車両出入り口部分の構造を改善し、走行性(直進性)を確保。

現況



計画

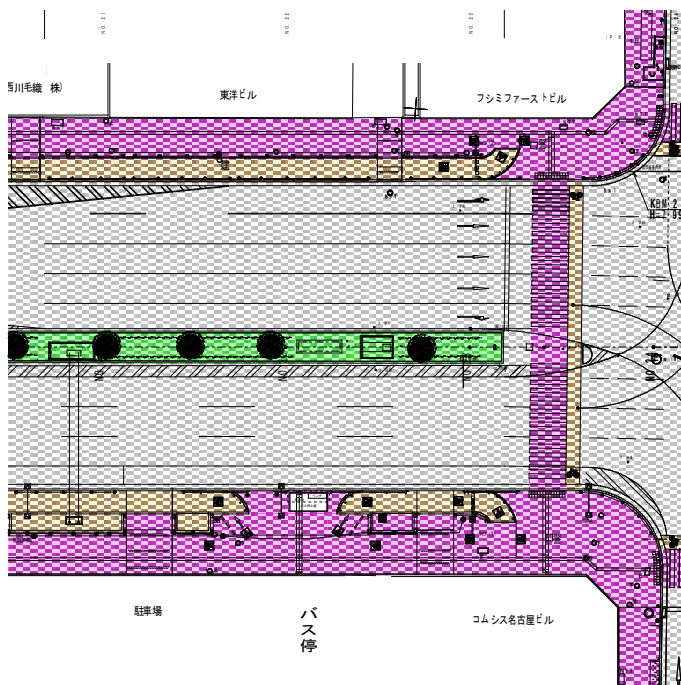


2.整備計画方針(案)

④バス停部の計画

- ・伏見町バス停部は、当該箇所の両側で自転車通行空間から歩行者通行空間に合流する構造となっている。
- ・バス停を現状のゼブラ帯へ移設、バスベイ型構造とすることで、走行性(直進性)を確保。
- ・バス利用者と自転車利用者との交錯部には、路面標示により注意喚起を行う。

現況



計画

